

# 万博 デ

## 多様性映す機会に

服飾史家の中野香織さんの話

70年大阪万博は、「ファッションの自由度」を大きく高めた業界の大きな分岐点だ。半世紀経っても色あせないユニホームは、高度経済成長の時代に自信と希望を持って生きた人々の思いの結晶だろう。

大胆な色彩表現や前衛的な組み合わせは、日本と世界の未来を見据える万博という舞台があったからこそ。ミニスカート、パンタロ

ン、ユニセックス、フォークロア（民族風）など、70年代前半の西洋の流行を時差なく取り入れており、あこがれの異国文化にすぐそばで触れられる貴重な機会だった。規格にとらわれず、自由にファッションを楽しむ感性は、万博後の日本に多大な影響を及ぼした。今は多様性が重視される時代。

大阪・関西万博は、個性を生かしたより自由なファッションが注目される。時代の精神を映し出すファッションの魅力を改めて感じられる機会になり得るだろう。

コシノジュンコさんがデザインした1970年大阪万博のユニホームの制作秘話を語る動画を配信中です。QRコードからご覧ください。

